



日本プライマリ・ケア連合学会
関東甲信越ブロック支部 活動報告

発行人
関東甲信越ブロック支部長
西村 真紀

ニュースレター No. 9 (2015. 3)

1. 関東甲信越ブロック議員総会のお知らせ

「関東甲信越ブロック議員総会」を 6月14日(日)第6回学術大会開催中のお昼に行います。代議員の皆様はご出席をお願いいたします。詳細は改めて事務局よりご案内致します。

議員総会で昼食をご用意いたします。学術大会の事前参加登録での昼食(14日)のお申込みは必要ございませんのでご注意のほどお願いいたします。

【日時】2015年6月14日(日) 12:15~13:15

【場所】つくばサイエンス・インフォメーションセンター 3F 大会議室
(茨城県つくば市吾妻1-10-1)

2. 都県支部からの報告

【茨城県支部活動報告】

「全国大会記念 茨城プライマリ・ケア懇親会」の開催

平成26年12月6日、盛況で有意義な企画でした。案内の抜粋と概要を報告します。

{案内文}

皆さまには地域でのたゆみないご活躍、ご苦勞に敬意を表します。

プライマリ・ケアとは、国民の健康や福祉に関わるあらゆる問題を総合的、継続的に解決していこうとする地域での施策と実践(WHO)という、もっとも広範な概念ですから、とりもなおさず、皆様の行政や地域医療・地域ケア・地域リハビリテーションのさまざまな分野でのご活動そのものといえます。

国は今、未曾有の長寿社会到来に向けて、高齢者医療とケア、生活支援の体制づくり(地域包括ケア)をすすめています。茨城県も先駆的に茨城型「地域ケアシステム」をファミリーケアとして取り組んできました。

関係者各位のご尽力により、第6回日本プライマリ・ケア連合学会全国大会は、筑波大 前野哲博教授を大会長に「人びとの暮らしを支える医療人の育成」のテーマで来年6月13、14日つくば市で開催されることになり、準備が開始されているところです。

これを記念して、皆さまの活動と事業展開がますます発展することを願うと同時に、お互いに連携・協働を深め、力を結集して総力としての茨城のプライマリ・ケアを将来ともより大きく発展させようではありませんか。今回の懇親会企画の趣旨はそこにあります。

懇親会次第

- (1) 来賓挨拶
- (2) 講演 「暮らしをサポートする地域医療」筑波大教授 前野哲博先生
- (3) 懇親会

{概要}: 県内各地域、病院、診療所、施設、行政、医育機関等で指導的に活躍している各職種の人達を人選しました。出席予定の47名全員が出席し、改めてプライマリ・ケアの旗のもと(主催者)連携して頑張っていこうと誓い、懇親を深めました。医師の他、歯科医師、薬剤師、看護師、施設長、理学療法士、社会福祉士、介護福祉士、ケアマネ、柔道整復師、社協、市行政など多彩でした。県保健福祉部次長、副市長のご挨拶、前

日本PC連合学会長のメッセージ、地元選出国會議員からの祝電、アトラクションなどもあり、盛会でした。支部としては、活動の報告と入会案内をしました。この機に一層の組織的充実、活動の強化をはかっていく方針です。

【埼玉県支部活動報告】

『多職種連携の難しさ、その裏返しとしての効率の良さ』考

私たちは埼玉プライマリ・ケア研究会として2007年から毎年、総会兼研究会を開き、2010年4月の日本プライマリ・ケア連合学会設立に呼応して、同年から埼玉プライマリ・ケア連合研究会と改称して現在に至ります。今年も11月19日（木）にさいたま市大宮区のソニックシティでの研究会をご案内しようと考えています。3月下旬には会の内容検討と、世話人会および事務局の編成更新についての臨時世話人会を予定しています。

埼玉県は東西に100km、南北に50kmの台形で、西には秩父山地、東には荒川、利根川が南北に流れる平野部と、海には面していないが東京に面している影響が大きいなど、多様な地形の各地域における医療問題も多様です。幅広いプライマリ・ケアの研究、学習、実践について、支部としてどんなお役にたてるのか、自分が世話人代表を承った2009年以来、悩みましたが、幸いに顧問をされていた生駒賢治先生が県立埼玉大学とのパイプ作りをして下さり、多職種協働（専門職協働）という先進的テーマに継続的な関わりを持つことができるようになり、現在わが国の核心的問題である「地域包括ケアシステム推進」にも抵抗感なく参加できるようになりました。

冒頭に掲げました、「多職種連携の難しさ」は当初から感じていたことで、それぞれの専門職の関心事が違うのに、他職種と連携するインセンティブ形成が難しいという「連携の本来の難しさ」が存在すること。しかしある時それを乗り越えてしまうと、多くのテーマで連携すべき多職種間の協力を抵抗が無くなる、ちょうど「山を越えたら眺めが良くなる」現象があることに気が付きました。続きは次回の研究会にてお話しします。

埼玉プライマリ・ケア連合研究会支部

代表世話人 中根晴幸（さいたま市緑区 ハーモニークリニック院長）

【山梨県支部活動報告】

平成26年12月20日、甲府共立病院において日本プライマリ・ケア連合学会山梨県支部会が開催されました。

山梨県には平成26年度までは後期研修プログラムは1つしかありませんでしたが、平成27年度に新たに3つのプログラムが認定され、計4つになり、県全体で総合診療医養成の動きが高まってきています。

当日は山梨県内から33人の参加者が集まりました。支部長の古屋聡先生のあいさつから始まり、ポートフォリオについての学習会を行いました。そのあと4つのプログラムを持つ病院から「各病院の総合診療医・家庭医養成の現状と課題について」と題して発表していただき、山梨県で総合診療医・家庭医をどのように育てていくのか、議論しました。

支部会終了後は交流会を行いました。関東甲信越ブロック支部長の西村真紀先生にも来ていただき、おおいに交流することができました。

この会をとおして、山梨県内の学会員がより顔の見える関係になり、総合診療医・家庭医養成というひとつの目標を持つことができました。今後は合同のポートフォリオ発表会なども開催していきたいと思います。

甲府共立病院 志村直子

【長野県支部活動報告】

1. 現在5月に行う「長野県支部設立総会、第1回学術大会の準備を行っている。

日時：2015年5月17日（日）14時より

会場：厚生連篠ノ井総合病院 あい講堂

プログラム：

日本プライマリ・ケア連合学会長野県支部設立総会

開会の辞 古川安之副支部長

祝典歌 田中 映子 伴奏 東福寺智恵子

支部長挨拶 古川善行

祝辞

組織運営説明

日本プライマリ・ケア連合学会長野県支部設立記念講演会（篠ノ井総合病院共催）

一般講演 座長 篠ノ井総合病院 鈴木貞博

講演1 長野赤十字病院における総合診療科の活動(仮)

講師 長野赤十字病院総合診療科 金児泰明

講演2 未定

講演3 未定

休憩

特別講演 座長 長野県支部長 古川善行

「プライマリ・ケア医への期待—医学・医療取材を通じて思うこと」

講師 信濃毎日新聞編集委員、科学ジャーナリスト 飯島裕一氏

閉会の辞 副支部長 鈴木 貞博

2. 地区活動

中信地区 第1回中信ブロック研究会

日時：2015年2月28日(土) 16時より

会場信州大学付属病院 旭総合研究棟講義室C

1. 中信の地域医療を盛り上げよう！

～総合診療・家庭医療・地域医療、中信の現状とこれから～

演者：信州大学付属病院総合診療科 教授 関口 健二

2. 中信の地域医療を盛り上げていくためのコトハジメ

～専門医としての家庭医、家庭医として身につけたい知識と技術、

家庭医療専門医(総合診療専門医)のキャリアパスについて～

演者 名古屋大学医学部付属病院総合診療科 講師 青松棟吉

3. 僕らの日常診療・思いを言語化してみよう！

～信大総合診療科が実際に経験した症例をポートフォリオにまとめ、

参加者及び講師によるフィードバック～

東信地区(北信地区と合同開催) 第5回長野プライマリ・ケア研究会

日時 5月30日(土)16時より

会場 佐久勤労福祉センター(予定)

当番世話人 厚生連佐久医療センター総合診療科 鄭 真徳先生

テーマ 「多職種連携」

特別講演 小島輝男先生 小串医院 院長

パネルディスカッション(予定：詳細未定)

【栃木県支部活動報告】

年4回(8月、11月、2月、5月)の研究会を開催しております。本年度の活動をご紹介します。

【第60回栃木プライマリ・ケア研究会】

日時：平成26年8月28日(木) 19時～21時

場所：矢吹クリニックセミナーハウス

テーマ：ありふれた訴えにどう対応するか

【第61回栃木プライマリ・ケア研究会】

日時：平成26年11月27日(木) 19時～21時

場所：矢吹クリニックセミナーハウス

テーマ：私の得意技

【第62回栃木プライマリ・ケア研究会】

日時：平成27年2月26日(木) 19時～21時

場所：矢吹クリニックセミナーハウス

テーマ：くすりを考える(ポリファーマシーについて)

【第63回栃木プライマリ・ケア研究会】(予定)

日時：平成27年5月28日(木) 19時～21時、ホテル東日本

特別講演：「回って回って回る、めまいの救急」

講師：福井大学医学部附属病院総合診療部教授 林寛之先生

共催：武田薬品工業株式会社